

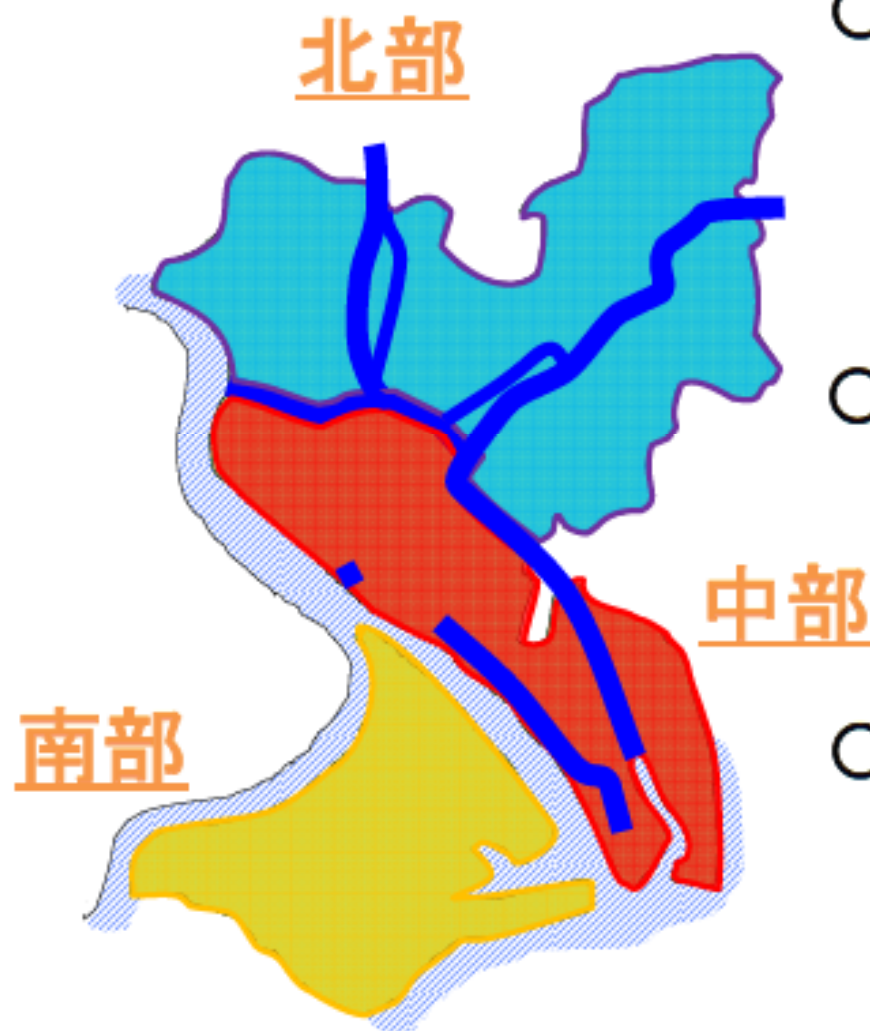
令和3年度市川市下水道事業審議会

市川市の雨水事業について

水と緑の部

河川・下水道建設課

市川市の概況



- 北部：台地
 - ・ 斜面林、谷津などの豊かな自然
 - ・ 市街地は低層の住宅地
 - ・ 県を中心に「総合治水対策」を進めている
- 中部：低地
 - ・ 狭隘道路が多い
 - ・ 昭和30年代のスプロール化により都市化が急速に進んだ地域
- 南部：低地
 - ・ 昭和40年代に土地区画整理事業による「まちづくり」が進んだ地域
 - ・ 道路や柵渠など、比較的都市基盤が整っている
 - ・ 柵渠等の都市基盤の老朽化が問題

市川市の雨水計画

計画目標：概ね5年に1回発生する大雨を速やかに排水する

[市川市公共下水道 雨水計画の概要]

・ 計画目標

概ね5年に1回発生する大雨を速やかに排水する

※概ね5年に1回発生する大雨＝1時間の降水量で示すと50mm

注) 船橋市と連携して事業を進める二保川流域では56mmとしている

・ 排水区の構成および計画図

雨水放流先	東京湾	江戸川	高麗川	桂川	国分川	香木川	大柏川	荒川大柏川	高谷川	二保川	計
排水区数	17	12	23	5	26	11	36	7	7	2	146
面積 (ha)	1,267	380	598	541	698	198	1,049	86	286	122	5,225



凡例

- 東京湾
- 江戸川
- 高麗川
- 桂川
- 国分川
- 香木川
- 大柏川
- 荒川大柏川
- 高谷川
- 二保川

浸水対策のための
雨水計画もあるんだ。



市域を146の排水区に分け、それぞれ雨水管やポンプ場の整備を行うものとしている。

市内の浸水の現状

○急速な都市化に伴い、地面への浸透量の減少、短時間で河川等へ流れ込む雨水の増加により、都市型水害が多発。

H25年 26号



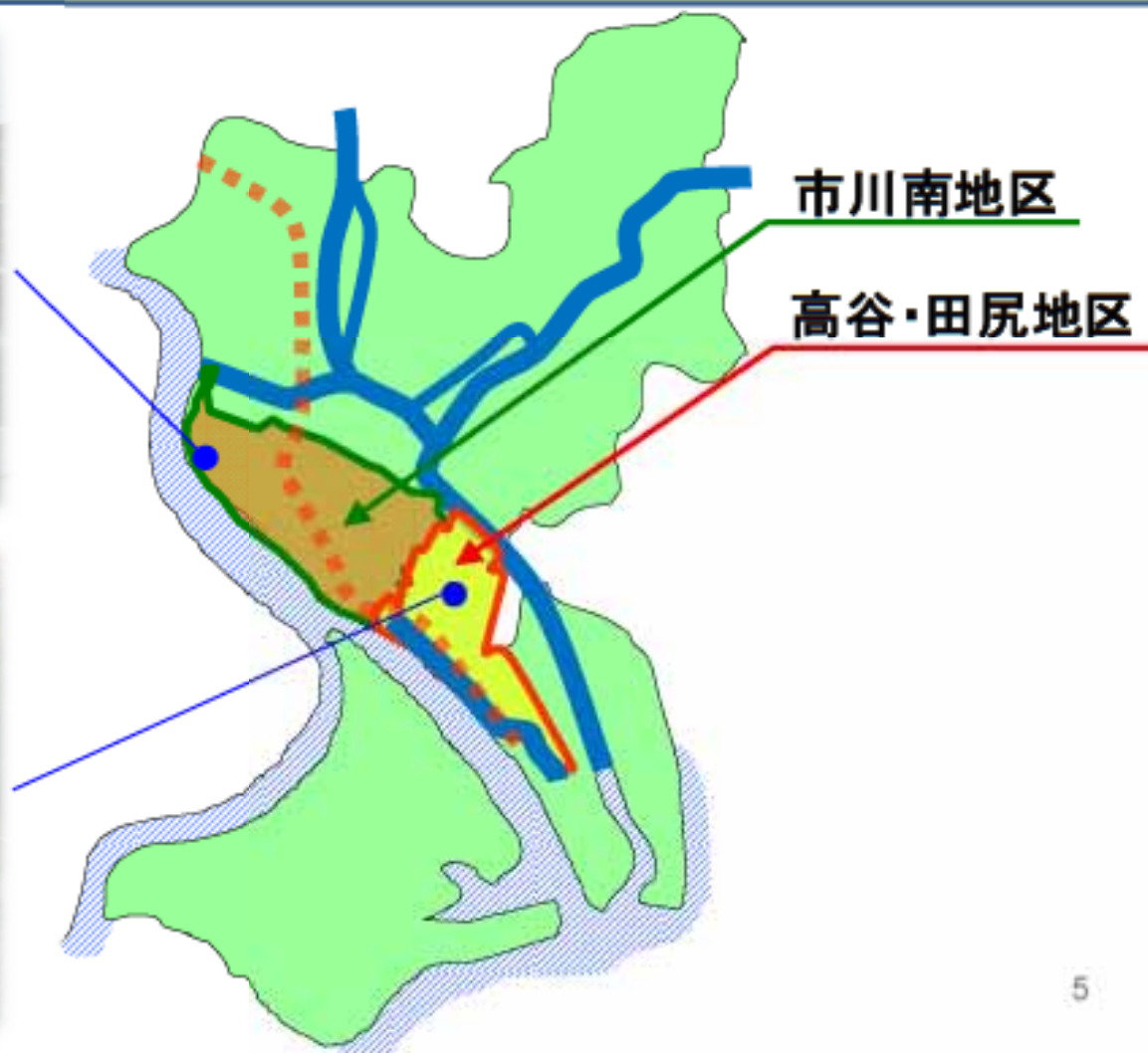
鬼高3丁目付近（産業道路）



田尻4・5丁目付近

浸水対策（整備優先地区）

- 総武線以南の高谷・田尻地区、市川南地区はポンプ排水が必要な低地であるため、浸水被害が発生しやすい。
- 整備優先地域に位置付け、重点的に浸水対策を行っている。



浸水対策（高谷・田尻地区）

- 江戸川と真間川に挟まれた低地部、約238haの区域。
- 外環道路整備に合わせた幹線整備が進む。



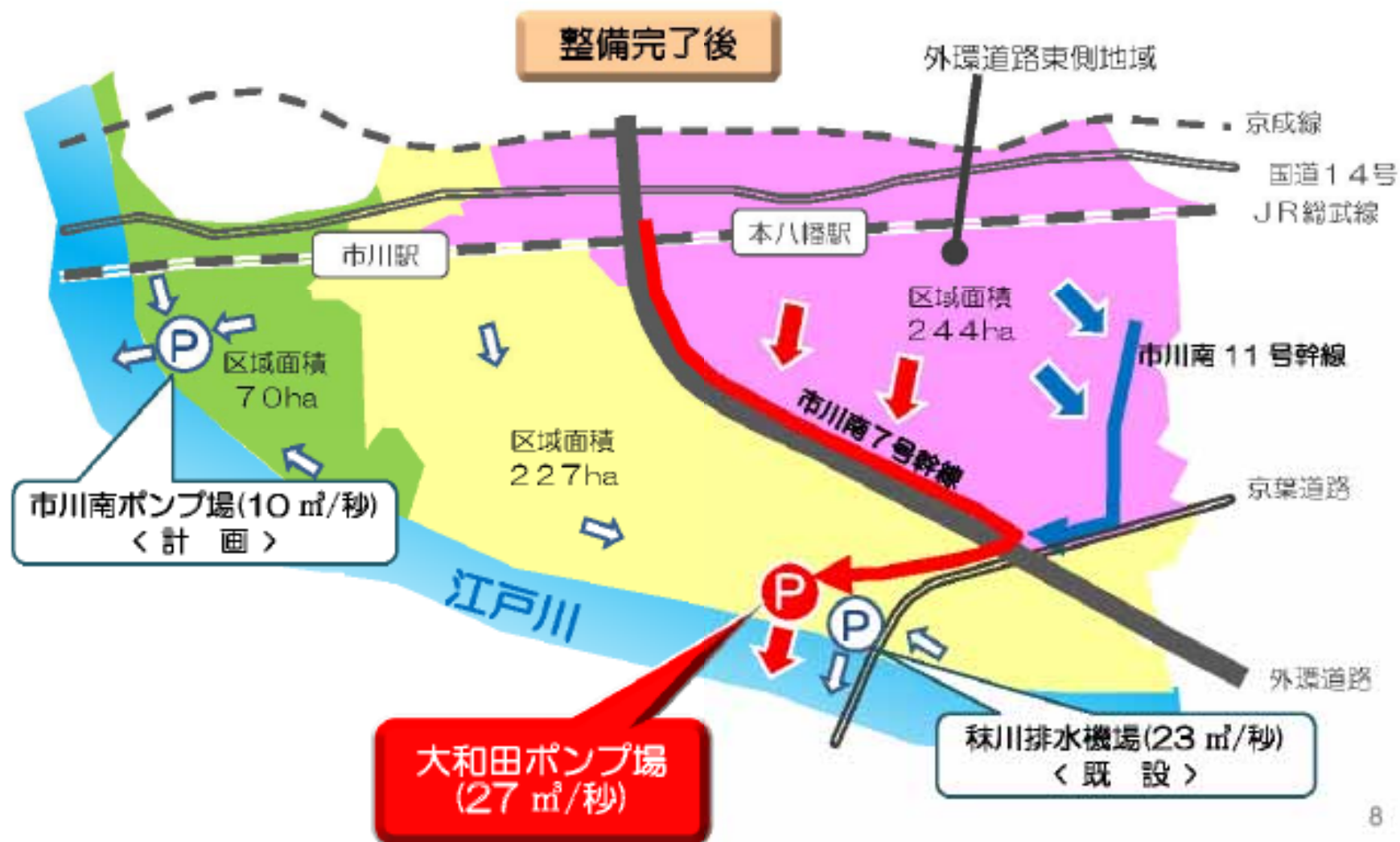
浸水対策（市川南地区）

○約541haの区域を秣川排水機場のみで排水。



浸水対策（市川南地区）

○排水システムを1つから3つに増やし、排水量を増加（**約2.6倍**）。



浸水対策（市川南地区）

- 市川駅西側の雨水排水を目的として整備している。
- 令和3年度は流入渠とポンプ場本体工事を実施。



浸水対策（市川南地区）



浸水対策（市川南地区）



浸水対策（市川南地区）



浸水対策（市川南地区）



浸水対策（市川南地区）



浸水対策（市川南地区）



浸水対策（市川南地区）

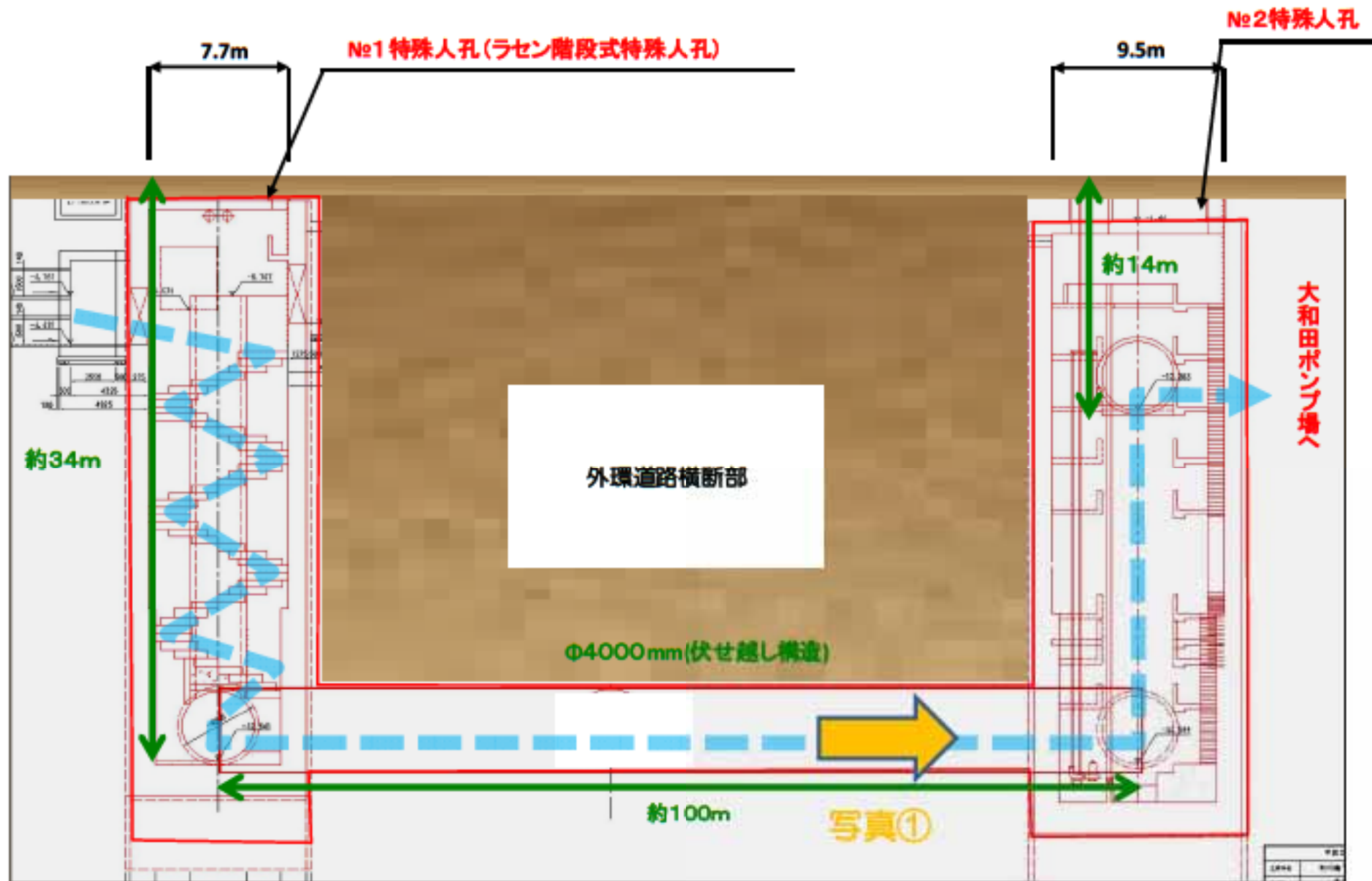


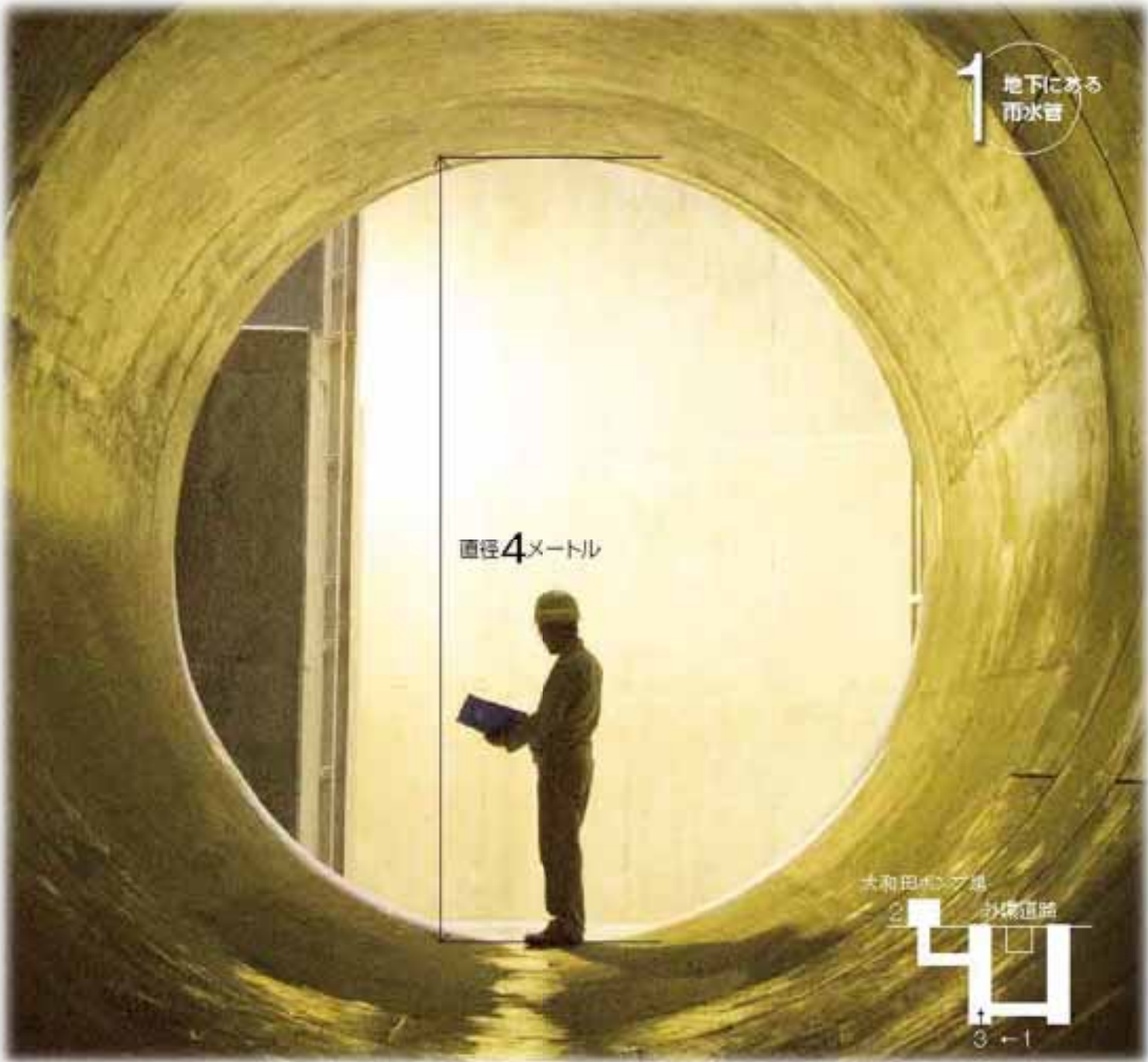
大和田ポンプ場

浸水対策（市川南地区）



市川南7号幹線（外環道路横断部）





1 地下にある
雨水管

直径4メートル

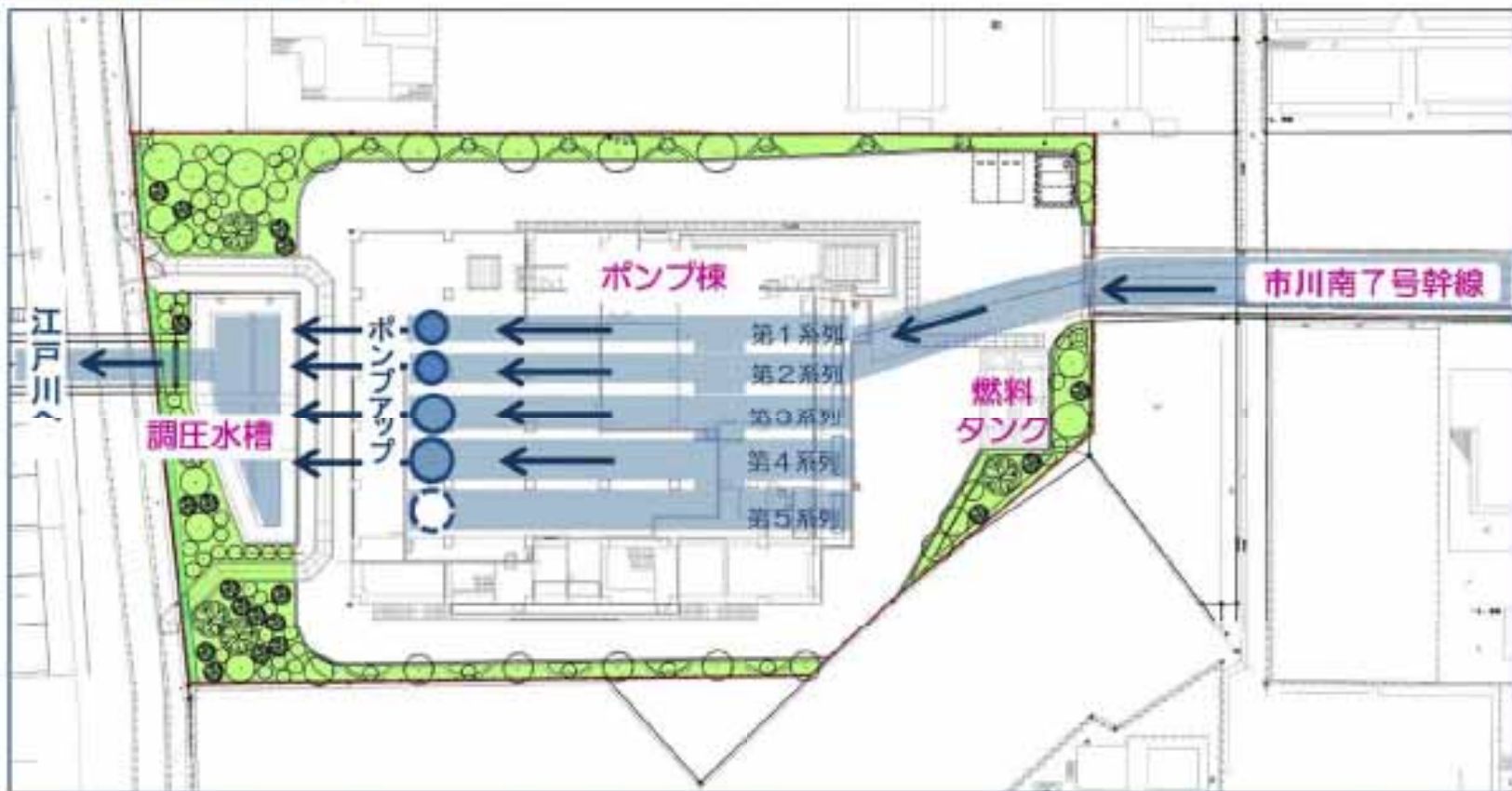
大和田ポンプ場
排水道

40

3-1



ポンプ場平面図



現場視察について

公共下水道（汚水）工事

令和4年1月17日（月）

工事概要 ～施工箇所～

▶ 工事名

市川第5 - 2 処理分区污水管渠布設工事

(R0310工区)

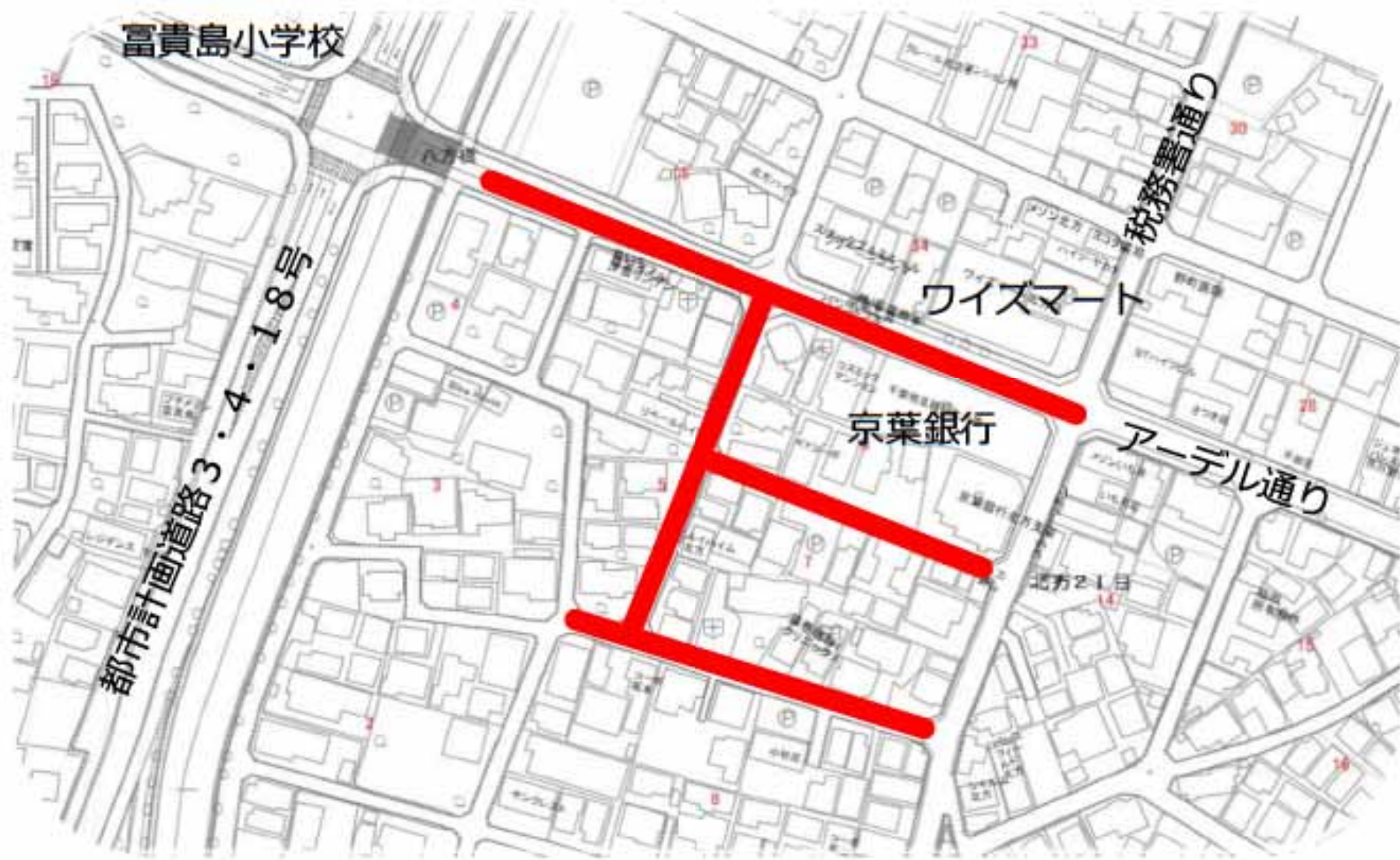
▶ 工事箇所

市川市北方2丁目5番～35番地先

施工箇所 ~案内図~



施工箇所 ~案内図~



工事概要 ~施工内容~

- ▶ 管渠布設工
 - ▶ 内径200mm管推進工 延長 131m
 - ▶ 内径200mm管開削工 延長 516m
- ▶ マンホール設置工
 - ▶ マンホール 23箇所
- ▶ 柵設置工
 - ▶ 小型汚水柵設置および取付管工 73箇所

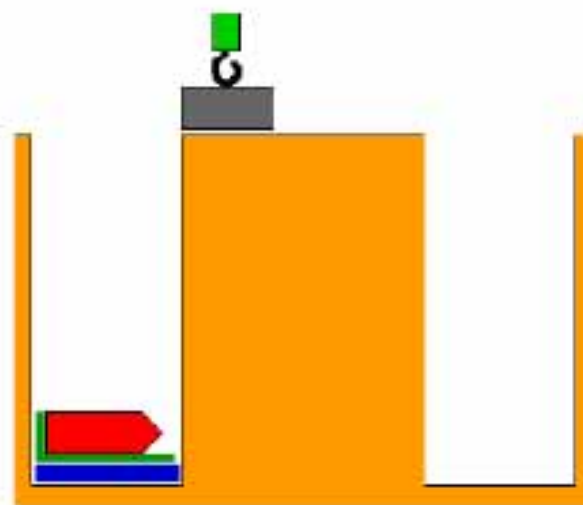
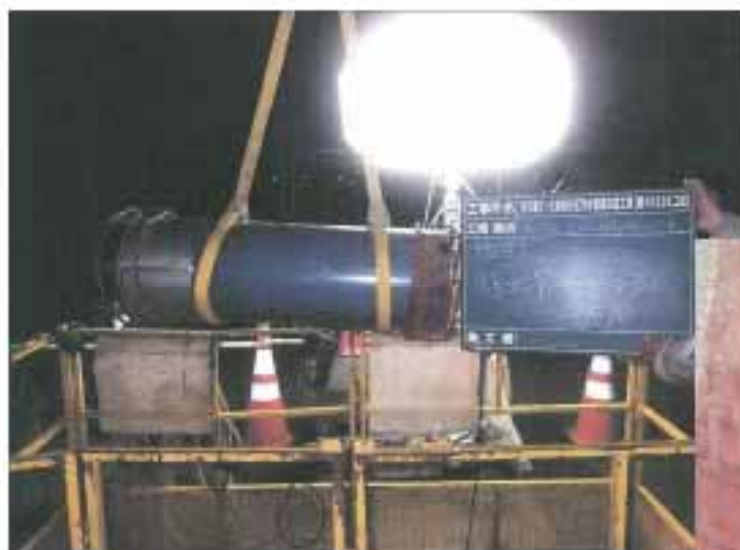
開削工法について

▶ 施工状況

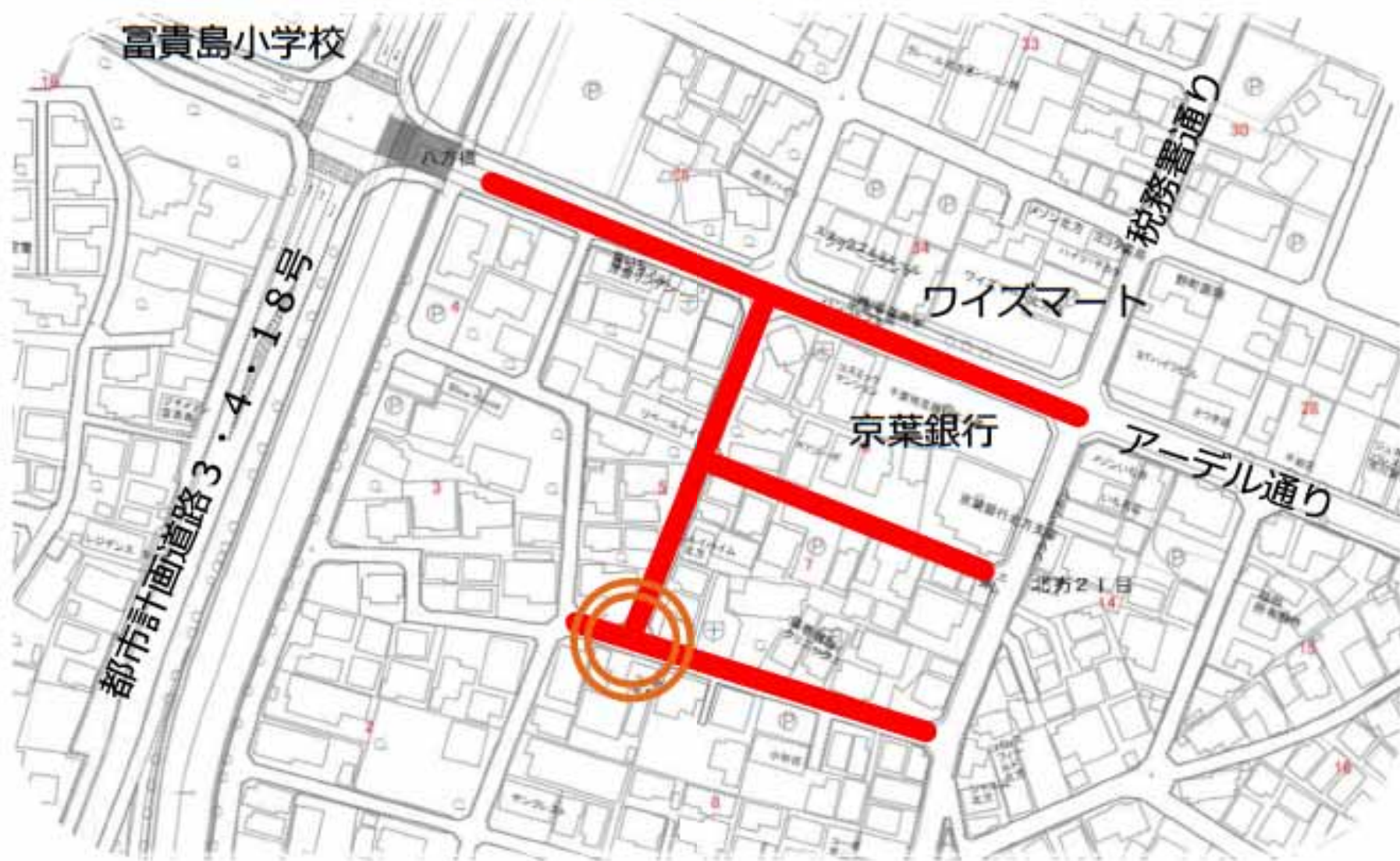


推進工法について

▶ 施工状況



工事概要 ~施工箇所~



以上で説明を終わります。